(様式:中学校用)

令和4年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立西新井中学校 校長 斎藤 直樹

1 学校教育目標

- ① よく考え知性を磨く 知性
- ② 学びあい品性を高める 品性
- ③ すすんで体力をつける 体力

2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

- ① 学校全体で読書を推奨し、読書の楽しさを知ることで、心豊かな生徒を育てる。
- ② 図書館の情報を有効的に活用することで、探求心を育む。
- ③ 学校図書館を活用し、校外学習の事前・事後学習に活かすことで情報の整理能力を養う。

3 学校图	図書館の	現状(令和3年	王度末)						
蔵書状況	① 蔵書		84 冊(蔵			冊) / 蔵 事 97		3 % (元 [´] 増減冊数		115 %) }
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術 5 類	産業6類	芸術 7 類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	3.7%	2.6%	11.0%	9.2%	10.3%	5.0%	3.6%	9.7%	3.2%	41.9%
*国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%
利活用の 状況	 ① 開館時間: 12:30~17:00 ② 生徒一人あたりの年間平均貸出冊数 9.0 冊(前々年度末: 5.48 冊) ③ 学校図書館利用率 1203 %(前々年度末: 808 %) 									
(令和4年	F度末)									
蔵書状況	① 蔵書数 冊 (蔵書基準冊数 冊) / 蔵書率 % ② 新規購入図書 冊 / 廃棄図書 冊 / 増減冊数 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術 5 類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学 9 類
蔵書構成割合										
*国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%
利活用の 状況	② 生徒	自時間: 走一人あた 文図書館利		平均貸出	冊数		引(前年度		更 あり 冊) ※)	

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

① 読書習慣の継続を促すと共に、前向きに本を読む姿勢を育てる。

第1学年

- ② 校外学習を中心に、図書を活用した活動を行い、探求心旺盛な生徒の育成を図る。
- ③ 学校の図書室を利用することで、マナーや借り方・扱い方など、正しく利用できるよう指導する。

今年	年度の成果目標	達成基準			
1	主体的に学校図書館を活用して、自らすすんで読書をすることができる。		第1学年の生徒一人あたりの年間 貸し出し平均冊数前年度比5%増		
2	図書館の本や資料を活用しながら資料をまとめ、課題に対し て自分の力でまとめることができる。	2	校外学習の調べる事前・事後学習 による本の貸し出し100%		

目標達成状況

- 1
- 2
- 3
- │① 文学的な観点から、語彙能力が高められるような読み物を推奨していく。
- 第2学年
- ② 校外学習を通して、学校図書や I C T 機器を工夫して、情報活用能力を育む。
- ③ 学校図書の利用を通して、公共施設での規範意識を高める。

2 (3) 読書を通して、自らの考えを深めたり、自ら述べられる力を育てる。 第3学年 (2)学校図書やICT機器を活用した探究活動を通して、情報を整理する能力を育成する。 ③ 学校図書をより良く利用することで、主権者としての素養を育成する。 今年度の成果目標 達成基準 ① 休み時間や自習の時間など、読書する週間が身に付き、心豊 第3学年の生徒一人あたりの年間 (1)かな生徒が育まれるよう指導する。 貸し出し平均冊数前年度比 5%増 ② 課題に応じて、本や新聞等、ICT機器を使い分け、探究活 ② 校外学習の調べる事前・事後学習 による本の貸し出し100% 動を進め、表現することができる。 目標達成状況 (1)2 3 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果 5 取組計画 · 方針 成果・効果 【蔵書・配架等に関すること】 ①中学生に適した新刊図書の情報収集に努め、教職員の教育活 動の支援にも考慮した選書を行う。 ②全蔵書に「3桁分類」への転換作業を完了させる。 【学校図書館支援員との連携・協働】 ①学校図書館オリエンテーションを実施し、日本十進分類法 NDC の理解を深める。 ②図書館だよりの発行や図書の展示・掲示の工夫等を通して、 生徒の読書意欲向上に努める ③調べ学習や授業に必要な資料について、積極的に支援員への 相談や情報交換を行う。

達成基準

第2学年の生徒一人あたりの年間

貸し出し平均冊数前年度比 5%増

② 校外学習の調べる事前・事後学習

による本の貸し出し100%

今年度の成果目標

目標達成状況

【その他】

年度末の図書返却率を100%となるよう取り組む

(1)

① 休み時間や自習の時間など、読書する週間が身に付けられる。

② 課題に応じて、本や新聞等、ICT機器を利用しながら、

まとめ学習が円滑に進めることができる。

学校図書館運営全体に関する自己評価(成果・課題・改善の方向性等)

7	学校図書館の取り組みに対する評価・要望等(学校関係者から)